PROGRAM

ごあいさつ

晩秋11月最後の日曜日の午後の貴重な時間に"千代田第九特別演奏会"にお越しくださいまして、まことに有り難うございます。この演奏会は「千代田フィルハーモニー管弦楽団」が「千代田区合唱連盟」2つのアマチュア団体のコラボレーションとして企画されました。またソリストには今日わが国のオペラ界を代表する新進気鋭の若手ソリストをお招きしました。アマチュアによる第九演奏は多数演奏されていますが、オーケストラ・合唱共にアマチュア、しかも全くスポンサーも付かないという演奏会はほとんど多くないと思います。このような企画を実現させられるのも「千代田」という地域の文化水準の高さを誇れず証と自負しております。今後も所属母体の「千代田区文化芸術協会」と共に"文化の香りあふれるまち千代田"を目指し活動を続けてまいります。

どうぞこれからもご支持ご支援下さいます様お願いいたします。

千代田フィルハーモニー管弦楽団

Wagner
Die Meistersinger von Nürnberg:Prelude to Act 1

1. R. ワーグナー 作曲
楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲
（第一幕への前奏曲）

intermission ― 休憩（15分）

Symphony No.9 in d moll op.125
Beethoven

2. L. V. ベートーヴェン 作曲
交響曲第九番 ニ短調 作品125（合唱付）

第一楽章 Allegro ma non troppo, un poco maestoso
第二楽章 Molto vivace
第三楽章 Adagio molto e cantabile
第四楽章 Finale

**夏田 昌和**〔指揮〕 NATSUDA Masakazu, Conductor

1968年東京都出身。東京藝術大学大学院修了後、パリ国立高等音楽院作曲科を満場一致の首席一等賞を得て卒業。作曲を永富正之、野田暉行、近藤譲、Gerard Grisey、指揮を秋山和慶、Jean-Sébastien Bereau の各氏に学ぶ。出光音楽賞、芥川作曲賞、Gotfredo Petrassi 国際作曲コンクール管弦楽科特別表彰、アンササ・オリエンテ国際指揮者コンクール第3位を初め、作曲と指揮の両分野での受賞や入選多数。フランス文化省や Ensemble Intercontemporain、サントリー音楽財団他より多くの作品委嘱を受け、作品は東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、新日本フィルハーモニー、Dutch Radio Symphony Orchestra, Berlin Symphony Orchestra を初めとした内外の著名なオーケストラやアンサンブル、ソリストによって広く演奏されている。指揮者としては20世紀作品の優れた解釈者として、アンサンブル・コンテンポラリーやアンサンブル・ウィーン・アルバ・レスピラン、アンサンブル・ポアといった諸団体を指揮、海外現代作品の日本初演を多く紹介と、邦人作品の世界初演に数多く携わっている。またアマチュア・オーケストラへの客演も多く、更に首都圏の主要な音楽大学において、学生を中心としたオーケストラやアンサンブルの指揮と指導にも熱心に取り組んでいる。国立音楽大学客教授、東京藝術大学、桐朋学園大学、日本大学芸術学部非常勤講師、日本現代音楽協会理事。

**西川 竜太**〔合唱指導〕 NISHIKAWA Ryuta, Chorus Instructor

早稲田大学商学部、東京藝術大学声楽科卒業、同大学院修士課程修了、早大在学中、グリークラブ指揮者を務める。早大卒業と同時に富大へ、声楽を鈴木寛一、指揮を田中信昭の各氏に師事、東京文化会館 青台芸術創造フェスティバル2001「三善晃 日本太鼓と合唱の世界『大地の鼓聲』」の合唱指導を務める。平成15年度 神奈川県立藤野芸術の家創造事業 スティーヴ・ライヒ「砂漠の音楽」公演の合唱指導を務める。東京都民交響楽団特別演奏会の合唱指導を務める。日本作曲家協議会主催のアジア音楽祭2003にて、室内楽作品の世界初演を指揮、またもと市民芸術館開館1周年事業「大地の詩響2005」にて指揮、芸大在学中より、声楽科有志と共に、ルネサンス以前のポリフォニー音楽・20世紀以降の現代合唱曲・作曲家と協力しての新作委嘱初演を活動の軸とする「人1パート編成の声楽アンサンブル「Vox humana ウォクスマーナ」を創設し、指揮者に就任。男声合唱団クール・ゼフィール、女声合唱団ヴォーチェ・アルモニカ、混声合唱団 空（くう）、女声合唱団 暁 の指揮者、成蹊大学混声合唱団常任指揮者、宮城県中部田鎖文太鼓〔三善晃作曲〕伝承会、福岡県みさろ雅歌〔三善晃作曲／合唱団合唱指導〕、お茶の水女子大学音楽科、都立芸術高校音楽科講師（合唱）。

**篠塚 義弘**〔弦楽器トレーナー〕 SHINOZUKA Yoshihiro, String Instructor

1965年東京生まれ。3歳よりヴァイオリンを始める。昭和大学文学部を卒業。ヴァイオリンを徳永二男氏・篠崎史紀氏に師事する。卒業後ギュンター・ピトラー氏（アルバン・ベルク弦楽四重奏団の招きでウィーンに留学。ウィーン音楽院マスタークラスに入学し、ソロをトーマス・クリスチャン氏に、室内楽をアルバン・ベルク弦楽四重奏団、ラサール弦楽四重奏団、バレンシ弦楽四重奏団の各メンバーに師事する。この間シュラードミング音楽祭（オーストリア）・国際室内楽音楽祭（スウェーデン）に参加。1994年に帰国する。また2001年にはウィーン国立音楽大学に留学し、またヴィオリストとしてソリストやゲストコンサートマスターも務めている。

近年は教師として後進の指導にあたり、各地ジュニアオーケストラなど子供たちや若い世代の音楽家の育成に尽力している。

**藤田 美奈子**〔ソプラノ〕 FUJITA Minako, Soprano

東京藝術大学声楽科卒業、同大学院オペラ科修了。二期会オペラ研修所第44期マスタークラスを優秀賞および奨励賞を受賞して修了。芸大定期オペラ「魔笛」のパパゲーナ役、「コシ・ファン・トゥッテ」のデスピーナ役、小澤征爾音楽塾「フィガロの結婚」にカヴァーキャストとして参加し、東京文化会館にて急遽代役として本公演に出演。新国立劇場オペラ「賢い女」のタイトルロール、Rシュトラウス「アラベラ」のフィアカミッリ役にてオペラに出演、コンサートにおいては「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」「モテット」「大ミサ」、フォーレ「レクイエム」「マライ受難曲」「ヨハネ受難曲」「口短調ミサ曲」「ドイツレクイエム」「カルミナ・ブラーナ」、「第九」等のソリストも務める。第31～33回リクルートスカラシップ奨学生として選抜、トラノ音楽財団学生として学ぶ他、野村国際文化財団奨学生、ローム・ミュージックファンデーション在外音楽研究生として、イタリア・ヴェローナを拠点とし研修を重ねる。カルロス・ゴメス国際声楽コンクール、テルニ国際声楽コンクール、ベニアミーノ・ジーリ国際声楽コンクール、カトゥエ国際声楽コンクール、ピエッラ国際声楽コンクールなどイタリアにて数々のコンクールを受賞する。2003年ローマで開催された、指揮者チョン・ミョンフン氏による「アジアの指き声楽オーディション」にて最終選考者、2004年ヘンデル「アリオダンテ」ダリンダ役にてヨーロッパ・オペラデビュー、その後「ラ・ボエーム」「最後女中」「愛の妙薬」「ドン・パスクワーレ」の各地のオペラに出演し好評を得る。2007年「ラメルモールのルチア」のタイトルロールを公演の際には"この小柄な東洋人であるMINAKO FUJITAがミラクルを起こした"と新聞に評された。二期会会員、日本声楽アカデミー会員。

**加賀 ひとみ**〔メゾソプラノ〕 KAGA Hitomi, Mezzo-Soprano

青森県十和田市出身、白梅学園（現・八戸聖ウルスラ学院）高等学校音楽科卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学大学院修士課程オペラ専攻修了。ズボン役からカメンまで幅広く活躍するメゾソプラノ。新国立劇場「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼルなど数多くのオペラに出演、日生劇場「カプレーティ家とモンッキ家」ロメオ役では、その透明感のある歌唱と、殺陣をこなしながらの安定したステージングで好評を博した。ベートーヴェン「第九」やシューマン「ゲーテの詩によるファウストからの情景」で東京フィルハーモニー、新日本フィルハーモニー、群馬交響楽団などのオーケストラと共演、さらにV.クレスとアリーダ・ポテ「バレッボール・ファイナルウラウンド優勝決定戦セレモニーや北京五輪体操日本代表壮行会にて国歌の独唱を務めたほか、作曲家・古庄奈穂子氏のアレンジによる童謡を中心にしたリサイタルを各地で開催するなど、その活躍の場は幅広い。来年2月には東京二期会公演「オテロ」エミーリアとのオペラへの出演が予定されている。日本声楽アカデミー会員、二期会会員、聖徳大学大学院兼任講師、共立女子大学非常勤講師。

**柿迫 秀**〔テノール〕 KAKIZAKO Akira, Tenor

国立音楽大学声楽科卒業、同大学大学院修了。モーツァルト「魔笛」のタミーノでオペラデビュー、1994年イタリア・ミラノ留学、1997年ペルッジーノ国際声楽コンクール入賞、1999年フランス・モンテジュネーブルにおいて、フランカ・マッティウッチ夏季セミナー参加、ディプロマ取得、イタリア及びフランス国内において数多くのコンサート等に出演し、好評を博す。2000年帰国、日本においては、プッチーニ、ヴェルディ、ドニゼッティ等のレパートリーを持つテノール・リリコとして、様々なオペラ及びコンサートのソリストとして活躍している。妙川聡、マリア・ミネット、ルーカ・ゴッラ、フランカ・マッティウッチ、デッロ・ボレンゾ・カザーティの各氏に師事。日本男性初クラシックヴォーカルユニットグループ「LEGEND」のメンバー。







# 千代田第九特別演奏会

（千代田フィルハーモニー管弦楽団第51回定期演奏会）The 51st Regular Concert

**2009年11月29日（日） 13:30開演 日比谷公会堂**
November 29, 2009 13:30 at Tokyo Metropolitan Hibiya Public Hall

主催／千代田フィルハーモニー管弦楽団　後援／千代田区文化芸術協会

Wagner
Die Meistersinger von Nürnberg:Prelude to Act 1
Beethoven
Symphony No.9 in d moll op.125

# 千代田第九特別演奏会

（千代田フィルハーモニー管弦楽団第51回定期演奏会）The 51st Regular Concert

**2009年11月29日（日） 13:30開演（13:00開場）** November 29, 2009 13:30PM
**日比谷公会堂** Tokyo Metropolitan Hibiya Public Hall
**1,000円〈全自由席〉** 1,000yen〈Non-Reserved〉

千代田フィルハーモニー管弦楽団
Chiyoda Philharmonic Orchestra

**指　揮：夏田昌和**
**独　唱：藤田美奈子／加賀ひとみ／柿迫 秀／薮内俊弥**
**合　唱：千代田"第九を歌う会"合唱団**
**合唱指導：西川竜太**

**R.ワーグナー**
**楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲**
**L.V.ベートーヴェン**
**交響曲第九番 ニ短調 作品125（合唱付）**

主催／千代田フィルハーモニー管弦楽団
後援／千代田区文化芸術協会

■お問い合せ先■ cpo_info@chiyodaphilharmonic.org
千代田フィル情報部広報担当
※車椅子席をご希望の方は、事前に上記Eメールアドレスへご連絡ください。

Conductor
NATSUDA Masakazu

Soprano
FUJITA Minako

Mezzo-Soprano
KAGA Hitomi

Tenor
KAKIZAKO Akira

Baritone
YABUUCHI Toshiya

# 千代田第九特別演奏会

The 51st Regular Concert（千代田フィルハーモニー管弦楽団第51回定期演奏会）

**指　揮：夏田昌和**
**独　唱：藤田美奈子**（ソプラノ）／**加賀ひとみ**（メゾソプラノ）／**柿迫 秀**（テノール）／**薮内俊弥**（バリトン）
**合　唱：千代田"第九を歌う会"合唱団**
**合唱指導：西川竜太**

R.ワーグナー　**楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲**
R.Wagner　Die Meistersinger von Nürnberg:Prelude to Act 1
L.V.ベートーヴェン　**交響曲第九番 ニ短調 作品125（合唱付）**
L.V.Beethoven　Symphony No.9 in d moll op.125

千代田フィルハーモニー管弦楽団
Chiyoda Philharmonic Orchestra

**2009年11月29日（日）** November 29, 2009
**13:30開演（13:00開場）** 13:30PM
**日比谷公会堂** Tokyo Metropolitan Hibiya Public Hall
**1,000円〈全自由席〉** 1,000yen〈Non-Reserved〉

■お問い合せ先■千代田フィル情報部広報担当
cpo_info@chiyodaphilharmonic.org
**http://www.chiyodaphilharmonic.org**

CHIYODA PHILHARMONIC ORCHESTRA SINCE 1976

主催／千代田フィルハーモニー管弦楽団　後援／千代田区文化芸術協会